

## 履修モデル ①

<b>学生が学修したいテーマ</b>	<b>地域社会の特性に応じた防災・減災まちづくり</b>
<b>選択するクラスター</b>	<b>防災・危機管理クラスター</b>

<b>養成する人材像</b>	人文・社会・人間科学分野における高度な専門知識と関連領域における幅広い知識を踏まえ、総合的かつグローバルな視点に基づき、地域の諸アクターと協働しながら、地域課題の解決と持続可能な地域社会の創成、社会における新たな価値の創出に主体的に貢献できる実践人材。 +防災・減災に関する基礎知識を踏まえ、地理的環境や社会構造等それぞれの地域社会の特性に応じた防災・減災まちづくり、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材。
<b>活躍できる職種・業種、就職先等</b>	地方公務員（防災関係部署等）、地域開発コンサルタント、地域シンクタンク研究員、地域課題関連NPO、情報・サービス業、建設業、マスコミ等。

科目区分	1年次		2年次		単位数	合計
	前期	後期	前期	後期		
学位論文指導科目 (9単位)	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	9	32
教育クラスター科目 (6単位以上)	●危機管理学②(理工) ●リスクコミュニケーション②(理工)	●領域横断セミナー①			6	
専攻専門科目 (8単位以上)	●公共政策特論②[地] ●グローバル社会特論②[グ]	●空間デザイン特論②[地] ●グローバル文化特論②[グ]			8	
専攻基礎科目 (5単位)	●地域創成論① ●地域創成プロジェクト研究③				5	
研究科共通科目 (4単位以上)	●データサイエンス② ●国際協力論① ●科学技術論A①				4	

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。 赤字：他専攻提供科目 [地]：地域系科目 [グ]：グローバル系科目

修了に必要な単位数：研究科共通科目4単位以上（研究科基礎教育科目2単位、及びグローバル教育科目群・イノベーション教育科目群から各1単位以上）、専攻基礎科目5単位、専攻専門科目8単位以上、教育クラスター科目6単位以上（うち他専攻の提供科目から2単位以上）、学位論文指導科目9単位、計32単位以上。ただし、専攻専門科目又は教育クラスター科目として、地域系科目・グローバル系科目を各4単位以上修得することとする。

<b>修士論文の研究テーマ例</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南海トラフ地震に備えた防災・減災まちづくりの取組と実践－徳島県南海岸地域の事例から－</li> <li>・高齢者の災害時避難をめぐる課題と対策－A町の事例から－</li> <li>・空間デザイン論の観点から見た有効な避難路設計－県南漁村・C町の場合－</li> <li>・地域における外国人防災を推進するための行政の役割－リスクコミュニケーションの視点を踏まえて－</li> </ul>
--------------------	---

## 履修モデル ②

<b>学生が学修したいテーマ</b>	<b>災害時における地域住民の健康・福祉支援</b>
<b>選択するクラスター</b>	<b>防災・危機管理クラスター</b>

<b>養成する人材像</b>	人文・社会・人間科学分野における高度な専門知識と関連領域における幅広い知識を踏まえ、総合的かつグローバルな視点に基づき、地域の諸アクターと協働しながら、地域課題の解決と持続可能な地域社会の創成、社会における新たな価値の創出に主体的に貢献できる実践人材。 +防災・減災に関する基礎知識を踏まえ、とくに巨大地震発生時の地域住民の健康・福祉支援等に主体的に貢献できる人材。
<b>活躍できる職種・業種、就職先等</b>	地方公務員（保健・福祉関係部署等）、医療・福祉機関、健康増進施設、情報・サービス業、マスコミ、地域課題関連NPO、地域開発コンサルタント等。

科目区分	1年次		2年次		単位数	合計
	前期	後期	前期	後期		
学位論文指導科目 (9単位)	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	9	32
教育クラスター科目 (6単位以上)	●危機管理学②(理工) ●リスクコミュニケーション②(理工)	●福祉社会特論②[地]			6	
専攻専門科目 (8単位以上)	●健康社会特論②[地] ●グローバル社会特論②[グ]	●応用生理学特論②[地] ●グローバル文化特論②[グ]			8	
専攻基礎科目 (5単位)	●地域創成論① ●地域創成プロジェクト研究③				5	
研究科共通科目 (4単位以上)	●データサイエンス② ●国際協力論① ●科学技術論A①				4	

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。 赤字：他専攻提供科目 [地]：地域系科目 [グ]：グローバル系科目

修了に必要な単位数：研究科共通科目4単位以上（研究科基礎教育科目2単位、及びグローバル教育科目群・イノベーション教育科目群から各1単位以上）、専攻基礎科目5単位、専攻専門科目8単位以上、教育クラスター科目6単位以上（うち他専攻の提供科目から2単位以上）、学位論文指導科目9単位、計32単位以上。ただし、専攻専門科目又は教育クラスター科目として、地域系科目・グローバル系科目を各4単位以上修得することとする。

<b>修士論文の研究テーマ例</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害時における要配慮者の健康支援のあり方－南海トラフ巨大地震発生に備えて－</li> <li>・仮設住宅居住高齢者の身体運動機能およびQOLに関する研究</li> <li>・高齢者福祉施設における災害への準備と被災後の対応</li> <li>・「危機管理」の観点から見た災害時医療と地域</li> </ul>
--------------------	--

### 履修モデル ③

<b>学生が学修したいテーマ</b>	<b>地域経済・産業の活性化とコミュニティ再生</b>
<b>選択するクラスター</b>	<b>地域開発クラスター</b>

<b>養成する人材像</b>	人文・社会・人間科学分野における高度な専門知識と関連領域における幅広い知識を踏まえ、総合的かつグローバルな視点に基づき、地域の諸アクターと協働しながら、地域課題の解決と持続可能な地域社会の創成、社会における新たな価値の創出に主体的に貢献できる実践人材。 + 地域計画・地域政策等に関する基礎知識を踏まえ、地域経済・産業の活性化やコミュニティ再生、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材。
<b>活躍できる職種・業種、就職先等</b>	地方公務員（産業・政策関係部署等）、地域開発コンサルタント、地域シンクタンク研究員、地域課題関連NPO、情報・サービス業、金融・流通業、観光業、マスコミ、起業等。

科目区分	1年次		2年次		単位数	合計
	前期	後期	前期	後期		
学位論文指導科目 (9単位)	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	9	32
		●領域横断セミナー①				
教育クラスター科目 (6単位以上)	地域計画学特論② [地] 公共政策特論② [地]	都市・地域計画論② (理工)	地域計画・地域政策等に関する基礎知識を修得		6	
専攻専門科目 (8単位以上)	地域構造特論② [地] 国際経済特論② [グ] グローバル社会特論② [グ]	地域社会特論② [地]			8	
専攻基盤科目 (5単位)	●地域創成論① ●地域創成プロジェクト研究③				5	
研究科共通科目 (4単位以上)	●データサイエンス② 国際協力論① 科学技術論A①				4	

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。 赤字：他専攻提供科目 [地]：地域系科目 [グ]：グローバル系科目

修了に必要な単位数：研究科共通科目4単位以上（研究科基盤教育科目2単位、及びグローバル教育科目群・イノベーション教育科目群から各1単位以上）、専攻基盤科目5単位、専攻専門科目8単位以上、教育クラスター科目6単位以上（うち他専攻の提供科目から2単位以上）、学位論文指導科目9単位、計32単位以上。ただし、専攻専門科目又は教育クラスター科目として、地域系科目・グローバル系科目を各4単位以上修得することとする。

<b>修士論文の研究テーマ例</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島市における経済変化と開発計画－コンパクトシティ促進政策をめぐって－</li> <li>・地域イベントとまちづくり－徳島市の「マチ☆アソビ」をめぐって</li> <li>・「サーフィンツーリズム」による地域活性化－徳島県南部地域の事例から－</li> <li>・空き家利用による企業誘致と定住促進の試み－徳島県におけるサテライトオフィスの事例から－</li> </ul>
--------------------	--

### 履修モデル ④

<b>学生が学修したいテーマ</b>	<b>地域の歴史・文化資源を生かした地域創成</b>
<b>選択するクラスター</b>	<b>地域開発クラスター</b>

<b>養成する人材像</b>	人文・社会・人間科学分野における高度な専門知識と関連領域における幅広い知識を踏まえ、総合的かつグローバルな視点に基づき、地域の諸アクターと協働しながら、地域課題の解決と持続可能な地域社会の創成、社会における新たな価値の創出に主体的に貢献できる実践人材。 + 地域計画・地域政策等に関する基礎知識を踏まえ、地域の歴史・文化資源の保全と地域振興への活用、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材。
<b>活躍できる職種・業種、就職先等</b>	地方公務員（文化・観光関係部署等）、地域開発コンサルタント、地域シンクタンク研究員、地域課題関連NPO、文化施設職員、学芸員、情報・サービス業、観光業、マスコミ等。

科目区分	1年次		2年次		単位数	合計
	前期	後期	前期	後期		
学位論文指導科目 (9単位)	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	9	32
		●領域横断セミナー①				
教育クラスター科目 (6単位以上)	公共政策特論② [地]	都市・地域計画論② (理工)	地域計画・地域政策等に関する基礎知識を修得		6	
専攻専門科目 (8単位以上)	地域文化特論② [地] グローバル社会特論② [グ]	日本歴史文化特論② [地] グローバル文化特論② [グ]			8	
専攻基盤科目 (5単位)	●地域創成論① ●地域創成プロジェクト研究③				5	
研究科共通科目 (4単位以上)	●データサイエンス② 国際協力論① 科学技術論A①				4	

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。 赤字：他専攻提供科目 [地]：地域系科目 [グ]：グローバル系科目

修了に必要な単位数：研究科共通科目4単位以上（研究科基盤教育科目2単位、及びグローバル教育科目群・イノベーション教育科目群から各1単位以上）、専攻基盤科目5単位、専攻専門科目8単位以上、教育クラスター科目6単位以上（うち他専攻の提供科目から2単位以上）、学位論文指導科目9単位、計32単位以上。ただし、専攻専門科目又は教育クラスター科目として、地域系科目・グローバル系科目を各4単位以上修得することとする。

<b>修士論文の研究テーマ例</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「阿波農村舞台」を活用した地域活性化－徳島県那賀町の事例から－</li> <li>・世界農業遺産を活用した地域創成－にし阿波の傾斜地農耕システムを事例として－</li> <li>・阿波人形浄瑠璃の伝承の「戦術」－徳島県内の人形座の調査から－</li> <li>・徳島県における「地域文学資源」の活用－モラエスの文学作品をめぐって－</li> </ul>
--------------------	--

履修モデル ⑤

学生が学修したいテーマ	多文化共生のまちづくり、国際交流・協力の推進
選択するクラスター	地域開発クラスター

養成する人材像	人文・社会・人間科学分野における高度な専門知識と関連領域における幅広い知識を踏まえ、総合的かつグローバルな視点に基づき、地域の諸アクターと協働しながら、地域課題の解決と持続可能な地域社会の創成、社会における新たな価値の創出に主体的に貢献できる実践人材。 +地域計画・地域政策等に関する知識を踏まえ、多文化共生のまちづくりや国際交流・協力の推進、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材。
活躍できる職種・業種、就職先等	地方公務員（国際交流関係部署等）、地域開発コンサルタント、地域シンクタンク研究員、情報・サービス業、観光業、地域課題関連NPO、国際協力関係NPO、マスコミ等。

科目区分	1年次		2年次		単位数	合計
	前期	後期	前期	後期		
学位論文指導科目 (9単位)	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	9	32
		●領域横断セミナー①				
教育クラスター科目 (6単位以上)	●公共政策特論② [地]	●都市・地域計画論② (理工)	●地域計画・地域政策等に関する基礎知識を修得		6	
		●地域社会特論② [地]				
専攻専門科目 (8単位以上)	●グローバル社会特論② [グ]	●言語コミュニケーション特論② [グ]			8	
		●国際関係特論② [グ]				
		●アジア文化特論② [グ]				
専攻基礎科目 (5単位)	●地域創成論①				5	
	●地域創成プロジェクト研究③					
	●アカデミック・ライティング①					
研究科共通科目 (4単位以上)	●データサイエンス②				4	
	●グローバル・コミュニケーションA①					
	●科学技術論A①					

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。 赤字：他専攻提供科目 [地]：地域系科目 [グ]：グローバル系科目

修了に必要な単位数：研究科共通科目4単位以上（研究科基礎教育科目2単位、及びグローバル教育科目群・イノベーション教育科目群から各1単位以上）、専攻基礎科目5単位、専攻専門科目8単位以上、教育クラスター科目6単位以上（うち他専攻の提供科目から2単位以上）、学位論文指導科目9単位、計32単位以上。ただし、専攻専門科目又は教育クラスター科目として、地域系科目・グローバル系科目を各4単位以上修得することとする。

修士論文の研究テーマ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流をめぐる官民連携の取組－徳島県とドイツとの文化交流の事例から－</li> <li>・地方自治体による外国人住民への生活支援－A町の事例から－</li> <li>・多言語・多文化共生社会における日本語教育－徳島市内の小学校の事例から－</li> <li>・地域と世界をつなぐ国際支援の手法－JICA四国の取組を参考に－</li> </ul>
-------------	---

履修モデル ⑥

学生が学修したいテーマ	地域情報のグローバルな発信と地域活性化
選択するクラスター	地域開発クラスター

養成する人材像	人文・社会・人間科学分野における高度な専門知識と関連領域における幅広い知識を踏まえ、総合的かつグローバルな視点に基づき、地域の諸アクターと協働しながら、地域課題の解決と持続可能な地域社会の創成、社会における新たな価値の創出に主体的に貢献できる実践人材。 ++社会人としての職務経験の上に、地域計画・地域政策等、現在の職務に関連する実務的で高度な知識・技能を分野横断的に学び、地域活性化やコミュニティ再生、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材。地域計画・地域政策等に関する基礎知識を踏まえ、地域情報のグローバルな発信と地域活性化に主体的に貢献できる人材。
活躍できる職種・業種、就職先等	地方公務員（文化・観光関係部署等）、地域開発コンサルタント、地域シンクタンク研究員、地域課題関連NPO、国際協力関係NPO、情報・サービス業、観光業、マスコミ等。

科目区分	1年次		2年次		単位数	合計
	前期	後期	前期	後期		
学位論文指導科目 (9単位)	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	9	32
		●領域横断セミナー①				
教育クラスター科目 (6単位以上)	●空間情報科学特論② [地]	●都市・地域計画論② (理工)	●地域計画・まちづくり等に関する基礎知識を修得		6	
		●地域社会特論② [地]				
専攻専門科目 (8単位以上)	●地域文化特論② [地]	●映像デザイン特論② [地]			8	
	●ヨーロッパ文化特論② [グ]	●グローバル文化特論② [グ]				
専攻基礎科目 (5単位)	●地域創成論①				5	
	●地域創成プロジェクト研究③					
	●アカデミック・ライティング①					
研究科共通科目 (4単位以上)	●データサイエンス②				4	
	●グローバル・コミュニケーションA①					
	●科学技術論A①					

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。 赤字：他専攻提供科目 [地]：地域系科目 [グ]：グローバル系科目

修了に必要な単位数：研究科共通科目4単位以上（研究科基礎教育科目2単位、及びグローバル教育科目群・イノベーション教育科目群から各1単位以上）、専攻基礎科目5単位、専攻専門科目8単位以上、教育クラスター科目6単位以上（うち他専攻の提供科目から2単位以上）、学位論文指導科目9単位、計32単位以上。ただし、専攻専門科目又は教育クラスター科目として、地域系科目・グローバル系科目を各4単位以上修得することとする。

修士論文の研究テーマ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GISを活用した地域情報のデジタル・アーカイブ化と観光情報発信の試み－徳島県を事例として－</li> <li>・VR技術を活用した「阿波踊り」プロモーション映像の製作</li> <li>・SNSを活用した地域観光情報の効果的発信について－三好市の「そらの里」の事例から－</li> </ul>
-------------	--

履修モデル ⑦

学生が学修したいテーマ	地域の健康・福祉課題の解決と健康社会の創成
選択するクラスター	地域開発クラスター

養成する人材像	人文・社会・人間科学分野における高度な専門知識と関連領域における幅広い知識を踏まえ、総合的かつグローバルな視点に基づき、地域の諸アクターと協働しながら、地域課題の解決と持続可能な地域社会の創成、社会における新たな価値の創出に主体的に貢献できる実践人材。 + 地域計画・地域政策等に関する基礎知識を踏まえ、地域の健康・福祉課題の解決と健康社会の創成、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材。
活躍できる職種・業種、就職先等	地方公務員（保健・福祉関係部署等）、医療・福祉機関、健康増進施設、情報・サービス業、マスコミ、地域課題関連NPO、地域開発コンサルタント等。

科目区分	1年次		2年次		単位数	合計
	前期	後期	前期	後期		
学位論文指導科目 (9単位)	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	9	32
教育クラスター科目 (6単位以上)	●領域横断セミナー①				6	
専攻専門科目 (8単位以上)	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	8	
専攻基盤科目 (5単位)	●地域創成論①	●地域創成プロジェクト研究③			5	
研究科共通科目 (4単位以上)	●データサイエンス②				4	
	国際協力論①					

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。赤字：他専攻提供科目 [地]：地域系科目 [グ]：グローバル系科目

修了に必要な単位数：研究科共通科目4単位以上（研究科基盤教育科目2単位、及びグローバル教育科目群・イノベーション教育科目群から各1単位以上）、専攻基盤科目5単位、専攻専門科目8単位以上、教育クラスター科目6単位以上（うち他専攻の提供科目から2単位以上）、学位論文指導科目9単位、計32単位以上。ただし、専攻専門科目又は教育クラスター科目として、地域系科目・グローバル系科目を各4単位以上修得することとする。

修士論文の研究テーマ例	・地域在住高齢者の健康づくり支援事業とその効果の検証 - A町の取組から - ・高齢者を介護する家族に対する支援の現状と課題 ・中山間地域における住民参加の福祉活動と「地域共生社会」創成の可能性 - B町の事例から - ・地域における外国人看護・介護人材受け入れに関する課題
-------------	--

履修モデル ⑧

学生が学修したいテーマ	先端医療機器・健康器具を活用した健康づくりの推進
選択するクラスター	メディカルサイエンスクラスター

養成する人材像	人文・社会・人間科学分野における高度な専門知識と関連領域における幅広い知識を踏まえ、総合的かつグローバルな視点に基づき、地域の諸アクターと協働しながら、地域課題の解決と持続可能な地域社会の創成、社会における新たな価値の創出に主体的に貢献できる実践人材。 + 生体工学や人間の身体機能等に関する基礎知識を踏まえ、先端的な医療機器・健康器具を活用した健康づくりの推進に主体的に貢献できる人材。
活躍できる職種・業種、就職先等	地方公務員（保健・福祉関係部署等）、医療・福祉機関、健康増進施設、医療機器メーカー、情報・サービス業、マスコミ、地域課題関連NPO、地域開発コンサルタント等。

科目区分	1年次		2年次		単位数	合計
	前期	後期	前期	後期		
学位論文指導科目 (9単位)	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	9	32
教育クラスター科目 (6単位以上)	●領域横断セミナー①				6	
専攻専門科目 (8単位以上)	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	8	
専攻基盤科目 (5単位)	●地域創成論①	●地域創成プロジェクト研究③			5	
研究科共通科目 (4単位以上)	●データサイエンス②				4	
	国際協力論①					

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。赤字：他専攻提供科目 [地]：地域系科目 [グ]：グローバル系科目

修了に必要な単位数：研究科共通科目4単位以上（研究科基盤教育科目2単位、及びグローバル教育科目群・イノベーション教育科目群から各1単位以上）、専攻基盤科目5単位、専攻専門科目8単位以上、教育クラスター科目6単位以上（うち他専攻の提供科目から2単位以上）、学位論文指導科目9単位、計32単位以上。ただし、専攻専門科目又は教育クラスター科目として、地域系科目・グローバル系科目を各4単位以上修得することとする。

修士論文の研究テーマ例	・生体機能アシストシステムが身体的・心理的機能に及ぼす影響 ・ITを利用した遠隔健康支援システムの効果 ・医療機器の導入による在宅健康支援の推進
-------------	--

履修モデル ⑨

学生が学修したいテーマ	介護・福祉現場におけるロボット技術の導入
選択するクラスター	ロボティクス・人間支援クラスター

養成する人材像	人文・社会・人間科学分野における高度な専門知識と関連領域における幅広い知識を踏まえ、総合かつグローバルな視点に基づき、地域の諸アクターと協働しながら、地域課題の解決と持続可能な地域社会の創成、社会における新たな価値の創出に主体的に貢献できる実践人材。 +ロボット技術と人間の身体機能等に関する基礎知識を踏まえ、介護・福祉現場におけるロボット技術の導入や、導入に際しての課題の検討に主体的に貢献できる人材。
活躍できる職種・業種、就職先等	地方公務員（保健・福祉関係部署等）、医療・福祉機関、健康増進施設、医療機器メーカー、情報・サービス業、マスコミ、地域課題関連NPO、地域開発コンサルタント等。

科目区分	1年次		2年次		単位数	合計
	前期	後期	前期	後期		
学位論文指導科目 (9単位)	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習② ●領域横断セミナー①	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	9	32
教育クラスター科目 (6単位以上)	ロボット工学特論②(理工) 認知心理学特論②(臨床心理) 健康科学特論②[地]	← ロボット工学・人間の身体機能等に関する基礎知識を修得			6	
専攻専門科目 (8単位以上)	応用生理学特論②[地] グローバル社会特論②[グ]	福祉社会特論②[地] グローバル文化特論②[グ]			8	
専攻基盤科目 (5単位)	●地域創成論① ●地域創成プロジェクト研究③ ●アカデミック・ライティング①				5	
研究科共通科目 (4単位以上)	●データサイエンス② 国際協力論① 科学技術論A①				4	

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。 赤字：他専攻提供科目 [地]：地域系科目 [グ]：グローバル系科目

修了に必要な単位数：研究科共通科目4単位以上（研究科基盤教育科目2単位、及びグローバル教育科目群・イノベーション教育科目群から各1単位以上）、専攻基盤科目5単位、専攻専門科目8単位以上、教育クラスター科目6単位以上（うち他専攻の提供科目から2単位以上）、学位論文指導科目9単位、計32単位以上。ただし、専攻専門科目又は教育クラスター科目として、地域系科目・グローバル系科目を各4単位以上修得することとする。

修士論文の研究テーマ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>老人福祉施設における介護ロボット導入効果と今後の課題 - A市の事例から -</li> <li>介護ロボットの開発と人材育成 - 理学療法士・作業療法士・介護福祉士の役割をめぐって -</li> <li>AIを利用した健康支援システムの有効性</li> </ul>
-------------	---

履修モデル ⑩

学生が学修したいテーマ	ビッグデータを活用した地域分析と地域課題の解決
選択するクラスター	データサイエンスクラスター

養成する人材像	人文・社会・人間科学分野における高度な専門知識と関連領域における幅広い知識を踏まえ、総合かつグローバルな視点に基づき、地域の諸アクターと協働しながら、地域課題の解決と持続可能な地域社会の創成、社会における新たな価値の創出に主体的に貢献できる実践人材。 +ビッグデータの分析に関する基礎知識を踏まえ、経済・産業・健康・福祉・防災等多様な地域情報の分析と地域課題の解決、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材。
活躍できる職種・業種、就職先等	地方公務員（産業・観光・福祉関係部署等）、地域開発コンサルタント、地域シンクタンク研究員、地域課題関連NPO、情報・サービス業、金融・流通業、観光業、マスコミ等。

科目区分	1年次		2年次		単位数	合計
	前期	後期	前期	後期		
学位論文指導科目 (9単位)	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習② ●領域横断セミナー①	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	9	32
教育クラスター科目 (6単位以上)	マルチメディア工学②(理工) 経済学特論②[地]	地域社会特論②[地]	← 社会ビッグデータの分析・データ処理等に関する基礎知識を修得		6	
専攻専門科目 (8単位以上)	公共政策特論②[地] 空間情報科学特論②[地] グローバル社会特論②[グ] 国際経済特論②[グ]				8	
専攻基盤科目 (5単位)	●地域創成論① ●地域創成プロジェクト研究③ ●アカデミック・ライティング①				5	
研究科共通科目 (4単位以上)	●データサイエンス② 国際協力論① 科学技術論A①				4	

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。 赤字：他専攻提供科目 [地]：地域系科目 [グ]：グローバル系科目

修了に必要な単位数：研究科共通科目4単位以上（研究科基盤教育科目2単位、及びグローバル教育科目群・イノベーション教育科目群から各1単位以上）、専攻基盤科目5単位、専攻専門科目8単位以上、教育クラスター科目6単位以上（うち他専攻の提供科目から2単位以上）、学位論文指導科目9単位、計32単位以上。ただし、専攻専門科目又は教育クラスター科目として、地域系科目・グローバル系科目を各4単位以上修得することとする。

修士論文の研究テーマ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビッグデータによる人口動態予測を踏まえた地域循環経済の構築 - A町を事例として -</li> <li>ビッグデータによる観光客の動態分析 - 徳島県を事例として -</li> <li>ヘルスケア・ビッグデータを活用した地域包括ケアシステムの実現</li> </ul>
-------------	---

履修モデル ⑪

学生が学修したいテーマ	人間活動と自然環境が調和した環境共生型の地域創成
選択するクラスター	環境共生クラスター

養成する人材像	人文・社会・人間科学分野における高度な専門知識と関連領域における幅広い知識を踏まえ、総合的かつグローバルな視点に基づき、地域の諸アクターと協働しながら、地域課題の解決と持続可能な地域社会の創成、社会における新たな価値の創出に主体的に貢献できる実践人材。 +生態系や環境保全等に関する基礎知識を踏まえ、人間活動と自然環境が調和した環境共生型の地域創成の推進や、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材。
活躍できる職種・業種、就職先等	地方公務員（環境関係部署等）、地域開発コンサルタント、地域シンクタンク研究員、地域課題関連NPO、情報・サービス業、観光業、マスコミ三等。

科目区分	1年次		2年次		単位数	合計
	前期	後期	前期	後期		
学位論文指導科目 (9単位)	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	9	32
教育クラスター科目 (6単位以上)		●領域横断セミナー① 環境生態学特論②(理工) 森林生物学特論②(生物資源) 応用倫理学特論②[グ]			6	
専攻専門科目 (8単位以上)	地域計画学特論②[地] 公共政策特論②[地] 空間情報科学特論②[地]	グローバル文化特論②[グ]			8	
専攻基盤科目 (5単位)	●地域創成論① ●地域創成プロジェクト研究③ ●7h7ミク・ライティング①				5	
研究科共通科目 (4単位以上)	●データサイエンス② 国際協力論① 科学技術論A①				4	

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。赤字：他専攻提供科目 [地]：地域系科目 [グ]：グローバル系科目

修了に必要な単位数：研究科共通科目4単位以上（研究科基盤教育科目2単位、及びグローバル教育科目群・イノベーション教育科目群から各1単位以上）、専攻基盤科目5単位、専攻専門科目8単位以上、教育クラスター科目6単位以上（うち他専攻の提供科目から2単位以上）、学位論文指導科目9単位、計32単位以上。ただし、専攻専門科目又は教育クラスター科目として、地域系科目・グローバル系科目を各4単位以上修得することとする。

修士論文の研究テーマ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野生動物の保護管理システムとしての狩猟-徳島県海陽町の事例から-</li> <li>・地域住民による里山環境保全活動の展開-徳島県神山町の事例から-</li> <li>・環境倫理の観点から見た生物多様性の保全と自然再生の理念</li> </ul>
-------------	---

履修モデル ⑫

学生が学修したいテーマ	地域の特色ある農林水産資源を生かした地域創成
選択するクラスター	6次産業クラスター

養成する人材像	人文・社会・人間科学分野における高度な専門知識と関連領域における幅広い知識を踏まえ、総合的かつグローバルな視点に基づき、地域の諸アクターと協働しながら、地域課題の解決と持続可能な地域社会の創成、社会における新たな価値の創出に主体的に貢献できる実践人材。 +農業経済や地域産品等に関する基礎知識を踏まえ、地域の特色ある農林水産資源を生かした地域振興や、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材。
活躍できる職種・業種、就職先等	地方公務員（産業関係部署等）、地域開発コンサルタント、地域シンクタンク研究員、地域課題関連NPO、情報・サービス業、金融・流通業、観光業、マスコミ三等。

科目区分	1年次		2年次		単位数	合計
	前期	後期	前期	後期		
学位論文指導科目 (9単位)	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	9	32
教育クラスター科目 (6単位以上)	地域構造特論②[地]	●領域横断セミナー① 農業経済学特論②(生物資源) 農業市場学特論②(生物資源)			6	
専攻専門科目 (8単位以上)	地域計画学特論②[地] 空間情報科学特論②[地] 国際経済特論②[グ]	グローバル文化特論②[グ]			8	
専攻基盤科目 (5単位)	●地域創成論① ●地域創成プロジェクト研究③ ●7h7ミク・ライティング①				5	
研究科共通科目 (4単位以上)	●データサイエンス② 国際協力論① 科学技術論A①				4	

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。赤字：他専攻提供科目 [地]：地域系科目 [グ]：グローバル系科目

修了に必要な単位数：研究科共通科目4単位以上（研究科基盤教育科目2単位、及びグローバル教育科目群・イノベーション教育科目群から各1単位以上）、専攻基盤科目5単位、専攻専門科目8単位以上、教育クラスター科目6単位以上（うち他専攻の提供科目から2単位以上）、学位論文指導科目9単位、計32単位以上。ただし、専攻専門科目又は教育クラスター科目として、地域系科目・グローバル系科目を各4単位以上修得することとする。

修士論文の研究テーマ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エディブルフラワー栽培による地域活性化の取組-吉野川市を事例として-</li> <li>・「阿波晩茶」の地域資源化と地域づくり-徳島県上勝町の事例から-</li> <li>・徳島県におけるワカメ養殖の現状と課題-A漁協の取組より-</li> </ul>
-------------	--

## 社会人 履修モデル ①

学生が学修したいテーマ	地域資源を活用した地域創成
選択するクラスター	地域開発クラスター

養成する人材像	人文・社会・人間科学分野における高度な専門知識と関連領域における幅広い知識を踏まえ、総合的かつグローバルな視点に基づき、地域の諸アクターと協働しながら、地域課題の解決と持続可能な地域社会の創成に主体的に貢献できる実践人材。 + 社会人としての職務経験の上に、地域計画・地域政策をはじめとする、現在の職務に関連する実務的で高度な知識・技能を分野横断的に学び、地域資源の地域振興への活用、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材。
現在の職種・業種	地方公務員（文化・観光関係部署等）、地域課題関連NPO、文化施設職員等。

科目区分	1年次		2年次		単位数	合計
	前期	後期	前期	後期		
学位論文指導科目 (9単位)	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	9	32
教育クラスター科目 (6単位以上)	●地域創成特別演習②	●領域横断セミナー①				
専攻専門科目 (8単位以上)	●公共政策特論② [地]	●都市・地域計画論② (理工)	●地域計画・地域政策等に関する基礎知識を修得		6	
		●地域社会特論② [地]				
専攻専門科目 (8単位以上)	●地域文化特論② [地]	●映像デザイン特論② [地]			8	
	●グローバル社会特論② [グ]	●グローバル文化特論② [グ]				
専攻基盤科目 (5単位)	●地域創成論①	●地域創成プロジェクト研究③			5	
	●アカデミック・ライティング①					
研究科共通科目 (4単位以上)	●データサイエンス②				4	
	●国際協力論①					
	●科学技術論A①					

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。 赤字：他専攻提供科目 [地]：地域系科目 [グ]：グローバル系科目

修了に必要な単位数：研究科共通科目4単位以上（研究科基盤教育科目2単位、及びグローバル教育科目群・イノベーション教育科目群から各1単位以上）、専攻基盤科目5単位、専攻専門科目8単位以上、教育クラスター科目6単位以上（うち他専攻の提供科目から2単位以上）、学位論文指導科目9単位、計32単位以上。ただし、専攻専門科目又は教育クラスター科目として、地域系科目・グローバル系科目を各4単位以上修得することとする。

修士論文の研究テーマ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本遺産「阿波藍」による地域活性化</li> <li>・地域におけるボランティアガイド育成と観光開発～美馬市脇町の「うだつの町並み」を事例として～</li> <li>・「木頭ゆず」のブランド化と地域活性化～那賀町の事例から～</li> </ul>
-------------	---

## 社会人 履修モデル ②

学生が学修したいテーマ	多文化共生のまちづくり、国際交流・協力の推進
選択するクラスター	地域開発クラスター

養成する人材像	人文・社会・人間科学分野における高度な専門知識と関連領域における幅広い知識を踏まえ、総合的かつグローバルな視点に基づき、地域の諸アクターと協働しながら、地域課題の解決と持続可能な地域社会の創成に主体的に貢献できる実践人材。 + 社会人としての職務経験の上に、地域計画・地域政策をはじめとする、現在の職務に関連する実務的で高度な知識・技能を分野横断的に学び、多文化共生のまちづくりや国際交流・協力の推進、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材。
現在の職種・業種	地方公務員（国際交流関係部署等）、国際協力関係NPO等。

科目区分	1年次		2年次		単位数	合計
	前期	後期	前期	後期		
学位論文指導科目 (9単位)	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	9	32
教育クラスター科目 (6単位以上)	●地域創成特別演習②	●領域横断セミナー①				
専攻専門科目 (8単位以上)	●公共政策特論② [地]	●都市・地域計画論② (理工)	●地域計画・地域政策等に関する基礎知識を修得		6	
		●地域社会特論② [地]				
専攻専門科目 (8単位以上)	●グローバル社会特論② [グ]	●言語コミュニケーション特論② [グ]			8	
		●グローバル文化特論② [グ]				
専攻基盤科目 (5単位)	●地域創成論①	●地域創成プロジェクト研究③			5	
	●アカデミック・ライティング①					
研究科共通科目 (4単位以上)	●データサイエンス②				4	
	●グローバル・コミュニケーションA①					
	●科学技術論A①					

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。 赤字：他専攻提供科目 [地]：地域系科目 [グ]：グローバル系科目

修了に必要な単位数：研究科共通科目4単位以上（研究科基盤教育科目2単位、及びグローバル教育科目群・イノベーション教育科目群から各1単位以上）、専攻基盤科目5単位、専攻専門科目8単位以上、教育クラスター科目6単位以上（うち他専攻の提供科目から2単位以上）、学位論文指導科目9単位、計32単位以上。ただし、専攻専門科目又は教育クラスター科目として、地域系科目・グローバル系科目を各4単位以上修得することとする。

修士論文の研究テーマ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官民連携型の国際交流プログラムの開発</li> <li>・外国人が参画するコミュニティづくり～A町の事例から～</li> <li>・異文化/自文化理解と国際交流～徳島県鳴門市の事例から～</li> <li>・NPO・NGOによる国際支援と内発的発展</li> </ul>
-------------	---

外国人留学生 履修モデル ①

学生が学修したいテーマ	地域の経済開発・観光開発
選択するクラスター	地域開発クラスター

養成する人材像	人文・社会・人間科学分野における高度な専門知識と関連領域における幅広い知識を踏まえ、総合的かつグローバルな視点に基づき、地域の諸アクターと協働しながら、地域課題の解決と持続可能な地域社会の創成に主体的に貢献できる実践人材。 + 地域計画・地域政策等に関する基礎知識を踏まえ、帰国後もしくは日本国内において、地域の経済開発・観光開発や、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材。
活躍できる職種・業種、就職先等	公務員（帰国後）、観光業、貿易業、情報・サービス業等。

科目区分	1年次		2年次		単位数	合計
	前期	後期	前期	後期		
学位論文指導科目 (9単位)	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	9	32
教育クラスター科目 (6単位以上)	●地域創成特別演習②	●領域横断セミナー①			6	
専攻専門科目 (8単位以上)	●地域創成特別演習② [地]	●都市・地域計画論② (理工)	●地域計画・地域政策等に関する基礎知識を修得		8	
専攻基盤科目 (5単位)	●地域創成論①	●地域創成プロジェクト研究③			5	
研究科共通科目 (4単位以上)	●データサイエンス②				4	
	国際協力論①					

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。 赤字：他専攻提供科目 [地]：地域系科目 [グ]：グローバル系科目  
修了に必要な単位数：研究科共通科目4単位以上（研究科基盤教育科目2単位、及びグローバル教育科目群・イノベーション教育科目群から各1単位以上）、専攻基盤科目5単位、専攻専門科目8単位以上、教育クラスター科目6単位以上（うち他専攻の提供科目から2単位以上）、学位論文指導科目9単位、計32単位以上。ただし、専攻専門科目又は教育クラスター科目として、地域系科目・グローバル系科目を各4単位以上修得することとする。

修士論文の研究テーマ例	・文化遺産観光の展開－日本と中国の事例を比較して－ ・中国の経済開発における経済特区の意義 ・観光開発におけるアクターの交渉と調整過程
-------------	---

外国人留学生 履修モデル ②

学生が学修したいテーマ	異文化理解にもとづく国際交流・協力の推進
選択するクラスター	地域開発クラスター

養成する人材像	人文・社会・人間科学分野における高度な専門知識と関連領域における幅広い知識を踏まえ、総合的かつグローバルな視点に基づき、地域の諸アクターと協働しながら、地域課題の解決と持続可能な地域社会の創成に主体的に貢献できる実践人材。 + 地域計画・地域政策等に関する基礎知識を踏まえ、帰国後もしくは日本国内において、異文化理解を踏まえた国際交流・協力の推進等に主体的に貢献できる人材。
活躍できる職種・業種、就職先等	公務員（帰国後）、国際交流団体、観光業、情報・サービス業等。

科目区分	1年次		2年次		単位数	合計
	前期	後期	前期	後期		
学位論文指導科目 (9単位)	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	9	32
教育クラスター科目 (6単位以上)	●地域創成特別演習②	●領域横断セミナー①			6	
専攻専門科目 (8単位以上)	●地域創成特別演習② [地]	●都市・地域計画論② (理工)	●地域計画・地域政策等に関する基礎知識を修得		8	
専攻基盤科目 (5単位)	●地域創成論①	●地域創成プロジェクト研究③			5	
研究科共通科目 (4単位以上)	●データサイエンス②				4	
	グローバル・コミュニケーションA①					

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。 赤字：他専攻提供科目 [地]：地域系科目 [グ]：グローバル系科目  
修了に必要な単位数：研究科共通科目4単位以上（研究科基盤教育科目2単位、及びグローバル教育科目群・イノベーション教育科目群から各1単位以上）、専攻基盤科目5単位、専攻専門科目8単位以上、教育クラスター科目6単位以上（うち他専攻の提供科目から2単位以上）、学位論文指導科目9単位、計32単位以上。ただし、専攻専門科目又は教育クラスター科目として、地域系科目・グローバル系科目を各4単位以上修得することとする。

修士論文の研究テーマ例	・国際交流事業における異文化理解の重要性－日中友好協会の事例から－ ・地域のグローバル化と多言語・多文化サービスの推進 ・在日留学生の異文化適応と日本観
-------------	--



地域創成専攻 履修モデル (①～⑫),  
社会人 履修モデル (①～②), 外国人留学生 履修モデル (①～②) の補足説明

《履修モデル①》

●学生が学修したいテーマ：地域社会の特性に応じた防災・減災まちづくり

●選択履修する教育クラスター：防災・危機管理クラスター

専攻の基本的な養成人材像に加え、防災・減災に関する基礎知識を踏まえ、地理的環境や社会構造等それぞれの地域社会の特性に応じた防災・減災まちづくり、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材が養成される。

●具体的な履修例

研究科共通科目では、「データサイエンス」(2単位)、「国際協力論」(1単位)、「科学技術論A」(1単位)を履修し、文理横断的な基礎知識、グローバルな視点、多面的なものの見方を身につける。

専攻基盤科目では、「地域創成論」「地域創成プロジェクト研究」「アカデミック・ライティング」を履修し、地域の諸アクターと協働しながら、高い倫理観・責任感をもって地域課題の解決に主体的・自律的に取り組む能力、及び論理的な思考力・表現力を身につける。

教育クラスター科目では、社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を身につける。教育クラスターは「防災・危機管理クラスター」を選択し、「地域社会の特性に応じた防災・減災まちづくり」という関心領域を踏まえ、防災・減災、地域計画等に関係の深い科目を中心に選択履修する。本履修モデルでは、危機管理の具体的な技法を講じる「危機管理学」、リスクコミュニケーションの技法を講じる「リスクコミュニケーション」、コミュニティ再生の技法を講じる「地域計画学特論」を履修科目として例示している。

専攻専門科目では、グローバルな視点を含め、地域課題の本質の理解と解決に必要な専門知識・技能を修得する。本履修モデルでは、地域政策立案に関する知識・技法を講じる「公共政策特論」、空間デザインの技法について講じる「空間デザイン特論」、グローバル化する現代社会・文化の重要課題を講じる「グローバル社会特論」「グローバル文化特論」を履修科目として例示している。

学位論文指導科目では、「地域創成特別演習」「領域横断セミナー」を履修し、多面的な視点を踏まえ研究成果を修士論文としてまとめあげ、広く発信する能力を身につける。

以上のような本専攻における教育課程を踏まえ、とくに「防災・危機管理クラスター」関係科目で修得した防災や地域計画に関する知識・技能を生かし、自らの専門分野(たとえば社会・政策系、グローバルを含む文化・情報系の学問)を基盤としつつ、防災・減災とまちづくりの課題をリンクさせ、地域社会における防災・減災対策や政策立案に関する課題等をテーマとした修士論文を作成する。徳島県を事例とした場合、近い将来発生が想定される南海トラフ巨大地震に備えた防災・減災まちづくりの推進がテーマ例として考えられる。

(具体的な修士論文の研究テーマ例)

・南海トラフ地震に備えた防災・減災まちづくりの取組と実践ー徳島県南海岸地域の事例からー

- ・高齢者の災害時避難をめぐる課題と対策－A町の事例から－
- ・空間デザイン論の観点から見た有効な避難路設計－県南漁村・C町の場合－
- ・地域における外国人防災を推進するための行政の役割－リスクコミュニケーションの視点を踏まえて－

## 《履修モデル②》

### ●学生が学修したいテーマ：大規模災害発生にともなう地域住民の健康・福祉支援

### ●選択履修する教育クラスター：防災・危機管理クラスター

専攻の基本的な養成人材像に加え、防災・減災に関する基礎知識を踏まえ、大規模災害（とくに巨大地震）発生にともなう地域住民の健康・福祉支援、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材が養成される。

### ●具体的な履修例

研究科共通科目では、「データサイエンス」（2単位）、「国際協力論」（1単位）、「科学技術論A」（1単位）を履修し、文理横断的な基礎知識、グローバルな視点、多面的なものの見方を身につける。

専攻基盤科目では、「地域創成論」「地域創成プロジェクト研究」「アカデミック・ライティング」を履修し、地域の諸アクターと協働しながら、高い倫理観・責任感をもって地域課題の解決に主体的・自律的に取り組む能力、及び論理的な思考力・表現力を身につける。

教育クラスター科目では、社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を身につける。教育クラスターは「防災・危機管理クラスター」を選択し、「災害時における地域住民の健康・福祉支援」という関心領域を踏まえ、防災・減災、地域福祉等に関係の深い科目を中心に選択履修する。本履修モデルでは、危機管理の具体的な技法を講じる「危機管理学」、リスクコミュニケーションの技法を講じる「リスクコミュニケーション」、地域の福祉課題を講じる「福祉社会特論」を履修科目として例示している。

専攻専門科目では、グローバルな視点を含め、地域課題の本質の理解と解決に必要な専門知識・技能を修得する。本履修モデルでは、地域の健康づくり課題を講じる「健康社会特論」、身体活動と身体機能の向上について講じる「応用生理学特論」、グローバル化する現代社会・文化の重要課題を講じる「グローバル社会特論」「グローバル文化特論」を履修科目として例示している。

学位論文指導科目では、「地域創成特別演習」「領域横断セミナー」を履修し、多面的な視点を踏まえ研究成果を修士論文としてまとめあげ、広く発信する能力を身につける。

以上のような本専攻における教育課程を踏まえ、とくに「防災・危機管理クラスター」関係科目で修得した防災・減災や地域福祉等に関する知識・技能を生かし、自らの専門分野（たとえば健康・福祉系、社会・政策系の学問）を基盤としつつ、防災・減災と地域健康課題をリンクさせ、巨大地震をはじめとする大規模災害時における地域住民の健康・福祉支援等をテーマとした修士論文を作成する。徳島県を事例とした場合、近い将来発生が想定される南海トラフ巨大地震発生後の、地域住民の健康・福祉支援をいかに有効に行うかがテーマ例として考えられる。

（具体的な修士論文の研究テーマ例）

- ・自然災害時における要配慮者の健康支援のあり方－南海トラフ巨大地震発生に備えて－

- ・仮設住宅居住高齢者の身体運動機能および QOL に関する研究
- ・高齢者福祉施設における災害への準備と被災後の対応
- ・「危機管理」の観点から見た災害時医療と地域連携について

### 《履修モデル③》

#### ●学生が学修したいテーマ：地域経済・産業の活性化とコミュニティ再生

#### ●選択履修する教育クラスター：地域開発クラスター

専攻の基本的な養成人材像に加え、地域計画・地域政策等に関する基礎知識を踏まえ、地域経済・産業の活性化やコミュニティ再生、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材が養成される。

#### ●具体的な履修例

研究科共通科目では、「データサイエンス」(2単位)、「国際協力論」(1単位)、「科学技術論A」(1単位)を履修し、文理横断的な基礎知識、グローバルな視点、多面的なものの見方を身につける。

専攻基盤科目では、「地域創成論」「地域創成プロジェクト研究」「アカデミック・ライティング」を履修し、地域の諸アクターと協働しながら、高い倫理観・責任感をもって地域課題の解決に主体的・自律的に取り組む能力、及び論理的な思考力・表現力を身につける。

教育クラスター科目では、社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を身につける。教育クラスターは「地域開発クラスター」を選択し、「地域経済・産業の活性化」や「コミュニティ再生」という関心領域を踏まえ、地域計画・地域政策等に関係の深い科目を中心に選択履修する。本履修モデルでは、都市計画の技法を講じる「都市・地域計画論」、コミュニティ再生の技法を講じる「地域計画特論」、地域政策立案に関する知識・技法を講じる「公共政策特論」を履修科目として例示している。

専攻専門科目では、グローバルな視点を含め、地域課題の本質の理解と解決に必要な専門知識・技能を修得する。本履修モデルでは、地域の経済・産業構造について講じる「地域構造特論」、まちづくり(地域活性化)と社会データ分析の技法を講じる「地域社会特論」、グローバル化する現代社会・経済の重要課題を講じる「グローバル社会特論」「国際経済特論」を履修科目として例示している。

学位論文指導科目では、「地域創成特別演習」「領域横断セミナー」を履修し、多面的な視点を踏まえ研究成果を修士論文としてまとめあげ、広く発信する能力を身につける。

以上のような本専攻における教育課程を踏まえ、とくに「地域開発クラスター」関係科目で修得した地域計画・地域政策等に関する知識・技能を生かし、自らの専門分野(たとえば社会・政策系、グローバルを含む文化・情報系の学問)を基盤としつつ、まちづくりにかかる多面的な知識・技能をリンクさせ、地域の経済・産業振興、観光開発、コミュニティ再生等に関する課題をテーマとした修士論文を作成する。徳島県を事例とした場合、とくに地域における経済・産業の活性化、地域の特性を生かした観光開発、定住化を含む過疎・高齢化対策とコミュニティの再生・再編等がテーマ例として考えられる。

(具体的な修士論文の研究テーマ例)

- ・徳島市における経済変化と開発計画ーコンパクトシティ促進政策をめぐってー
- ・地域イベントとまちづくりー徳島市の「マチ☆アソビ」をめぐって

- ・「サーフィンツーリズム」による地域活性化－徳島県南部地域の事例から－
- ・空き家利用による企業誘致と定住促進の試み－徳島県におけるサテライトオフィスの事例から－

#### 《履修モデル④》

##### ●学生が学修したいテーマ：地域の歴史・文化資源を生かした地域創成

##### ●選択履修する教育クラスター：地域開発クラスター

専攻の基本的な養成人材像に加え、地域計画・地域政策等に関する基礎知識を踏まえ、地域の歴史・文化資源の保全と地域振興への活用、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材が養成される。

##### ●具体的な履修例

研究科共通科目では、「データサイエンス」（2単位）、「国際協力論」（1単位）、「科学技術論A」（1単位）を履修し、文理横断的な基礎知識、グローバルな視点、多面的なものの見方を身につける。

専攻基盤科目では、「地域創成論」「地域創成プロジェクト研究」「アカデミック・ライティング」を履修し、地域の諸アクターと協働しながら、高い倫理観・責任感をもって地域課題の解決に主体的・自律的に取り組む能力、及び論理的な思考力・表現力を身につける。

教育クラスター科目では、社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を身につける。教育クラスターは「地域開発クラスター」を選択し、「地域の歴史・文化資源を生かした地域創成」という関心領域を踏まえ、文化政策の基盤となる地域計画・地域政策等に関係の深い科目を中心に選択履修する。本履修モデルでは、都市計画の技法を講じる「都市・地域計画論」、まちづくり（地域活性化）と社会データ分析の技法を講じる「地域社会特論」、地域政策立案に関する知識・技法を講じる「公共政策特論」を履修科目として例示している。

専攻専門科目では、グローバルな視点を含め、地域課題の本質の理解と解決に必要な専門知識・技能を修得する。本履修モデルでは、地域文化資源の特質とその保存・活用について講じる「地域文化特論」、地域の歴史文化資源について講じる「日本歴史文化特論」、グローバル化する現代社会・文化の重要課題を講じる「グローバル社会特論」「グローバル文化特論」を履修科目として例示している。

学位論文指導科目では、「地域創成特別演習」「領域横断セミナー」を履修し、多面的な視点を踏まえ研究成果を修士論文としてまとめあげ、広く発信する能力を身につける。

以上のような本専攻における教育課程を踏まえ、とくに「地域開発クラスター」関係科目で修得した地域計画・地域政策等に関する知識・技能を生かし、自らの専門分野（たとえば社会・政策系、グローバルを含む文化・情報系の学問）を基盤としつつ、地域史・地域文化研究の知見とまちづくりをリンクさせ、地域の歴史・文化資源の特質、地域歴史・文化資源の保全や観光資源としての活用等に関する課題をテーマとした修士論文を作成する。徳島県を事例とした場合、四国遍路と札所寺院、阿波踊り、阿波人形浄瑠璃、藍の文化、うだつの町並み、山間部の傾斜地農法（世界農業遺産）、地域文学等、地域固有の歴史・文化資源の特質と価値に関する深い理解、その保存の方策および観光資源としての効果的な活用方法の検討、政策立案等がテーマ例として考えられる。

(具体的な修士論文の研究テーマ例)

- ・「阿波農村舞台」を活用した地域活性化―徳島県那賀町の事例から―
- ・世界農業遺産を活用した地域創成―にし阿波の傾斜地農耕システムを事例として―
- ・阿波人形浄瑠璃の伝承の「戦術」―徳島県内の人形座の調査から―
- ・徳島県における「地域文学資源」の活用―モラエスの文学作品をめぐって―

## 《履修モデル⑤》

### ●学生が学修したいテーマ：多文化共生のまちづくり，国際交流・協力の推進

### ●選択履修する教育クラスター：地域開発クラスター

専攻の基本的な養成人材像に加え，地域計画・地域政策等に関する知識を踏まえ，多文化共生のまちづくりや国際交流・協力の推進，関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材が養成される。

### ●具体的な履修例

研究科共通科目では，「データサイエンス」（2単位），「グローバルコミュニケーションA」（1単位），「科学技術論A」（1単位）を履修し，文理横断的な基礎知識，グローバルな視点，多面的なものの見方を身につける。

専攻基盤科目では，「地域創成論」「地域創成プロジェクト研究」「アカデミック・ライティング」を履修し，地域の諸アクターと協働しながら，高い倫理観・責任感をもって地域課題の解決に主体的・自律的に取り組む能力，及び論理的な思考力・表現力を身につける。

教育クラスター科目では，社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を身につける。教育クラスターは「地域開発クラスター」を選択し，「多文化共生のまちづくり，国際交流・協力の推進」という関心領域を踏まえ，地域計画・地域政策等に関係の深い科目を中心に選択履修する。本履修モデルでは，都市計画の技法を講じる「都市・地域計画論」，まちづくり（地域活性化）と社会データ分析の技法を講じる「地域社会特論」，地域政策立案に関する知識・技法を講じる「公共政策特論」を履修科目として例示している。

専攻専門科目では，グローバルな視点を含め，地域課題の本質の理解と解決に必要な専門知識・技能を修得する。本履修モデルでは，グローバル化する現代社会の重要課題を講じる「グローバル社会特論」，英語による言語コミュニケーション能力の向上を図る「言語コミュニケーション特論」，国際政治学の観点から国際関係課題を講じる「国際関係特論」，日本と交流が深いアジア地域の社会・文化の特色を講じる「アジア文化特論」を履修科目として例示している。

学位論文指導科目では，「地域創成特別演習」「領域横断セミナー」を履修し，多面的な視点を踏まえ研究成果を修士論文としてまとめあげ，広く発信する能力を身につける。

以上のような本専攻における教育課程を踏まえ，とくに「地域開発クラスター」関係科目で修得した地域計画・地域政策等に関する知識・技能を生かし，自らの専門分野（たとえば社会・政策系，グローバルを含む文化・情報系の学問）を基盤としつつ，グローバル化する社会・文化や異文化／自文化理解に関する知識とまちづくりをリンクさせ，国際交流・協力，多文化共生のまちづくり等，地域のグローバル課題をテーマとした修士論文を作成する。徳島県を事例とした場合，近隣のアジア諸地域や提携都市（ドイツ，アメリカ等）との文化交流，JICA四国とも連携した第三世界の国々（ケニア，ネパール等）への国

際支援，異文化／自文化理解も踏まえ，地域における外国人との共生を推進する取組や政策の検討がテーマ例として考えられる。

(具体的な修士論文の研究テーマ例)

- ・国際交流をめぐる官民連携の取組－徳島県とドイツとの文化交流の事例から－
- ・地方自治体による外国人住民への生活支援－A町の事例から－
- ・多言語・多文化共生社会における日本語教育－徳島市内の小学校の事例から－
- ・地域と世界をつなぐ国際支援の手法－JICA 四国の取組を参考に－

## 《履修モデル⑥》

### ●学生が学修したいテーマ：地域情報のグローバルな発信と地域活性化

### ●選択履修する教育クラスター：地域開発クラスター

専攻の基本的な養成人材像に加え，地域計画・地域政策等に関する知識を踏まえ，地域情報のグローバルな発信と地域活性化に主体的に貢献できる人材が養成される。

### ●具体的な履修例

研究科共通科目では，「データサイエンス」(2単位)，「グローバルコミュニケーションA」(1単位)，「科学技術論A」(1単位)を履修し，文理横断的な基礎知識，グローバルな視点，多面的なものの見方を身につける。

専攻基盤科目では，「地域創成論」「地域創成プロジェクト研究」「アカデミック・ライティング」を履修し，地域の諸アクターと協働しながら，高い倫理観・責任感をもって地域課題の解決に主体的・自律的に取り組む能力，及び論理的な思考力・表現力を身につける。

教育クラスター科目では，社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を身につける。教育クラスターは「地域開発クラスター」を選択し，「地域情報のグローバルな発信と地域活性化」という関心領域を踏まえ，地域計画，まちづくり(地域活性化)等に関係の深い科目を中心に選択履修する。本履修モデルでは，都市計画の技法を講じる「都市・地域計画論」，まちづくり(地域活性化)と社会データ分析の技法を講じる「地域社会特論」，GISを援用した地域データの分析技法を講じる「空間情報科学特論」を履修科目として例示している。

専攻専門科目では，グローバルな視点を含め，地域課題の本質の理解と解決に必要な専門知識・技能を修得する。本履修モデルでは，地域文化資源の特質とその保存・活用について講じる「地域文化特論」，効果的な情報デザイン・発信技法について講じる「映像デザイン特論」，グローバル化する現代文化の重要課題を講じる「グローバル文化特論」，ヨーロッパと日本(徳島)の文化交流も取り上げる「ヨーロッパ文化特論」を履修科目として例示している。

学位論文指導科目では，「地域創成特別演習」「領域横断セミナー」を履修し，多面的な視点を踏まえ研究成果を修士論文としてまとめあげ，広く発信する能力を身につける。

以上のような本専攻における教育課程を踏まえ，とくに「地域開発クラスター」関係科目で修得した地域計画・地域政策等に関する知識・技能を生かし，自らの専門分野(たとえば社会・政策系，グローバルを含む文化・情報系の学問)を基盤としつつ，まちづくりと情報加工・発信の技術をリンクさせ，多様な地域情報の収集・加工・発信に関する技法，地域情報のグローバルな発信に基づく地域創成等をテーマとした修士論文を作成する。徳

島県を事例とした場合、県内の多様な地域資源の特質の理解を踏まえた、Web や SNS 等を通じたグローバルな情報発信と地域活性化がテーマ例として考えられる。

(具体的な修士論文の研究テーマ例)

- ・ GIS を活用した地域情報のデジタル・アーカイブ化と観光情報発信の試みー徳島県を事例としてー
- ・ VR 技術を活用した「阿波踊り」プロモーション映像の製作
- ・ SNS を活用した地域観光情報の効果的発信についてー三好市の「そらの里」の事例からー

## 《履修モデル⑦》

### ●学生が学修したいテーマ：地域の健康・福祉課題の解決と健康社会の創成

### ●選択履修する教育クラスター：地域開発クラスター

専攻の基本的な養成人材像に加え、地域計画・地域政策等に関する基礎知識を踏まえ、地域の健康・福祉課題の解決と健康社会の創成、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材が養成される。

### ●具体的な履修例

研究科共通科目では、「データサイエンス」(2単位)、「国際協力論」(1単位)、「科学技術論A」(1単位)を履修し、文理横断的な基礎知識、グローバルな視点、多面的なものの見方を身につける。

専攻基盤科目では、「地域創成論」「地域創成プロジェクト研究」「アカデミック・ライティング」を履修し、地域の諸アクターと協働しながら、高い倫理観・責任感をもって地域課題の解決に主体的・自律的に取り組む能力、及び論理的な思考力・表現力を身につける。

教育クラスター科目では、社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を身につける。教育クラスターは「地域開発クラスター」を選択し、「地域の健康・福祉課題の解決と健康社会の創成」という関心領域を踏まえ、地域計画・地域政策等に関係の深い科目を中心に選択履修する。本履修モデルでは、都市計画の技法を講じる「都市・地域計画論」、地域政策立案に関する知識・技法を講じる「公共政策特論」、地域の健康づくりについて講じる「健康社会特論」を履修科目として例示している。

専攻専門科目では、グローバルな視点を含め、地域課題の本質の理解と解決に必要な専門知識・技能を修得する。本履修モデルでは、身体の構造と機能の特質を講じる「健康科学特論」、地域の福祉課題を講じる「福祉社会特論」、グローバル化する現代社会・文化の重要課題を講じる「グローバル社会特論」「グローバル文化特論」を履修科目として例示している。

学位論文指導科目では、「地域創成特別演習」「領域横断セミナー」を履修し、多面的な視点を踏まえ研究成果を修士論文としてまとめあげ、広く発信する能力を身につける。

以上のような本専攻における教育課程を踏まえ、とくに「地域開発クラスター」関係科目で修得した地域計画・地域政策等に関する知識・技能を生かし、自らの専門分野(たとえば健康・福祉系、社会・政策系の学問)を基盤としつつ、健康・福祉課題とまちづくりをリンクさせ、地域の健康・福祉課題、健康社会の創成等をテーマとした修士論文を作成する。徳島県を事例とした場合、高齢化が進む地域住民の健康増進と福祉課題の解決を最重

要課題として、児童虐待、外国人福祉等、増加する地域福祉課題の解決がテーマ例として考えられる。

(具体的な修士論文の研究テーマ例)

- ・地域在住高齢者の健康づくり支援事業とその効果の検証－A町の取組から－
- ・高齢者を介護する家族に対する支援の現状と課題
- ・中山間地域における住民参加の福祉活動と「地域共生社会」創成の可能性－B町の事例から－
- ・地域における外国人看護・介護人材受け入れに関する課題

## 《履修モデル⑧》

●学生が学修したいテーマ：先端医療機器・健康器具を活用した健康づくりの推進

●選択履修する教育クラスター：メディカルサイエンスクラスター

専攻の基本的な養成人材像に加え、生体工学や人間の身体機能等に関する基礎知識を踏まえ、先端的な医療機器・健康器具を活用した健康づくりの推進に主体的に貢献できる人材が養成される。

●具体的な履修例

研究科共通科目では、「データサイエンス」(2単位)、「国際協力論」(1単位)、「科学技術論A」(1単位)を履修し、文理横断的な基礎知識、グローバルな視点、多面的なものの見方を身につける。

専攻基盤科目では、「地域創成論」「地域創成プロジェクト研究」「アカデミック・ライティング」を履修し、地域の諸アクターと協働しながら、高い倫理観・責任感をもって地域課題の解決に主体的・自律的に取り組む能力、及び論理的な思考力・表現力を身につける。

教育クラスター科目では、社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を身につける。教育クラスターは「メディカルサイエンスクラスター」を選択し、「先端的な医療機器・健康器具を活用した健康づくりの推進」という関心領域を踏まえ、身体構造と機能向上の理解に関係の深い科目を中心に選択履修する。本履修モデルでは、生体工学の基本知識を講じる「生体工学特論」、身体活動と身体機能の向上について講じる「応用生理学特論」、身体の構造・機能の特質を講じる「健康科学特論」を履修科目として例示している。

専攻専門科目では、グローバルな視点を含め、地域課題の本質の理解と解決に必要な専門知識・技能を修得する。本履修モデルでは、身体の構造・機能の測定方法を講じる「行動科学」、地域における健康づくりの課題について講じる「健康社会特論」、グローバル化する現代社会・文化の重要課題を講じる「グローバル社会特論」「グローバル文化特論」を履修科目として例示している。

学位論文指導科目では、「地域創成特別演習」「領域横断セミナー」を履修し、多面的な視点を踏まえ研究成果を修士論文としてまとめあげ、広く発信する能力を身につける。

以上のような本専攻における教育課程を踏まえ、とくに「メディカルサイエンスクラスター」関係科目で修得した身体構造と機能向上等に関する知識・技能を生かし、自らの専門分野(たとえば健康・福祉系の学問)を基盤としつつ、身体に関する技術的な知識と健康・福祉の現場をリンクさせ、先端医療機器・技術を活用した健康増進等の課題をテーマとした修士論文を作成する。徳島県を事例とした場合、高齢者に向けた先端的な医療機器・



健康器具の開発と、病院や医療・健康増進施設等関連施設への導入促進、及び効果の検証がテーマ例として考えられる。

(具体的な修士論文の研究テーマ例)

- ・生体機能アシストシステムが身体的・心理的機能に及ぼす影響
- ・ITを利用した遠隔健康支援システムの効果
- ・医療機器の導入による在宅健康支援の推進

## 《履修モデル⑨》

●学生が学修したいテーマ：介護・福祉現場におけるロボット技術の導入

●選択履修する教育クラスター：ロボティクス・人間支援クラスター

専攻の基本的な養成人材像に加え、ロボット技術と人間の身体機能等に関する基礎知識を踏まえ、介護・福祉現場におけるロボット技術の導入や、導入に際しての課題の検討に主体的に貢献できる人材が養成される。

●具体的な履修例

研究科共通科目では、「データサイエンス」(2単位)、「国際協力論」(1単位)、「科学技術論A」(1単位)を履修し、文理横断的な基礎知識、グローバルな視点、多面的なものの見方を身につける。

専攻基盤科目では、「地域創成論」「地域創成プロジェクト研究」「アカデミック・ライティング」を履修し、地域の諸アクターと協働しながら、高い倫理観・責任感をもって地域課題の解決に主体的・自律的に取り組む能力、及び論理的な思考力・表現力を身につける。

教育クラスター科目では、社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を身につける。教育クラスターは「ロボティクス・人間支援クラスター」を選択し、「介護・福祉現場におけるロボット技術の導入」という関心領域を踏まえ、ロボットの構造、人間の身体的構造・機能等に関係の深い科目を中心に選択履修する。本履修モデルでは、ロボットの基本的なメカニズムについて講じる「ロボット工学特論」、人間の認知機能のメカニズムについて講じる「認知心理学特論」、身体の構造・機能の特質を講じる「健康科学特論」を履修科目として例示している。

専攻専門科目では、グローバルな視点を含め、地域課題の本質の理解と解決に必要な専門知識・技能を修得する。本履修モデルでは、身体活動と身体機能の向上について講じる「応用生理学特論」、地域における福祉課題について講じる「福祉社会特論」、グローバル化する現代社会・文化の重要課題を講じる「グローバル社会特論」「グローバル文化特論」を履修科目として例示している。

学位論文指導科目では、「地域創成特別演習」「領域横断セミナー」を履修し、多面的な視点を踏まえ研究成果を修士論文としてまとめあげ、広く発信する能力を身につける。

以上のような本専攻における教育課程を踏まえ、とくに「ロボティクス・人間支援クラスター」関係科目で修得したロボットの構造、人間の身体的構造・機能等に関する知識・技能を生かし、自らの専門分野(たとえば健康・福祉系の学問)を基盤としつつ、ロボットに関する技術的な知識と健康・福祉の現場をリンクさせ、介護・福祉現場におけるロボット技術や介護機器の導入にかかる課題等をテーマとした修士論文を作成する。徳島県を事例とした場合、高齢化や介護・福祉従事者の不足を背景として、介護・福祉現場でのロ

ボット導入が喫緊の課題となっており、その導入促進、及び効果の検証がテーマ例として考えられる。

(具体的な修士論文の研究テーマ例)

- ・老人福祉施設における介護ロボット導入効果と今後の課題－A市の事例から－
- ・介護ロボットの開発と人材育成－理学療法士・作業療法士・介護福祉士の役割をめぐって－
- ・AIを利用した健康支援システムの有効性

## 《履修モデル⑩》

### ●学生が学修したいテーマ：ビッグデータを活用した地域分析と地域課題の解決

### ●選択履修する教育クラスター：データサイエンスクラスター

専攻の基本的な養成人材像に加え、ビッグデータの分析に関する基礎知識を踏まえ、経済・産業・健康・福祉・防災等多様な地域情報の分析と地域課題の解決、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材が養成される。

### ●具体的な履修例

研究科共通科目では、「データサイエンス」(2単位)、「国際協力論」(1単位)、「科学技術論A」(1単位)を履修し、文理横断的な基礎知識、グローバルな視点、多面的なものを見方を身につける。

専攻基盤科目では、「地域創成論」「地域創成プロジェクト研究」「アカデミック・ライティング」を履修し、地域の諸アクターと協働しながら、高い倫理観・責任感をもって地域課題の解決に主体的・自律的に取り組む能力、及び論理的な思考力・表現力を身につける。

教育クラスター科目では、社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を身につける。教育クラスターは「データサイエンスクラスター」を選択し、「ビッグデータを活用した地域分析と地域課題の解決」という関心領域を踏まえ、ビッグデータ分析、データ処理に関係の深い科目を中心に選択履修する。本履修モデルでは、マルチメディア情報の処理技法を講じる「マルチメディア工学」、人口・経済データの分析を扱う「経済学特論」、社会データの分析を扱う「地域社会特論」を履修科目として例示している。

専攻専門科目では、グローバルな視点を含め、地域課題の本質の理解と解決に必要な専門知識・技能を修得する。本履修モデルでは、地域政策立案に関する知識・技法を講じる「公共政策特論」、GISを援用した地域データの分析技法について講じる「空間情報科学特論」、グローバル化する地域社会・経済の重要課題を講じる「グローバル社会特論」「国際経済特論」を履修科目として例示している。

学位論文指導科目では、「地域創成特別演習」「領域横断セミナー」を履修し、多面的な視点を踏まえ研究成果を修士論文としてまとめあげ、広く発信する能力を身につける。

以上のような本専攻における教育課程を踏まえ、とくに「データサイエンスクラスター」関係科目で修得したビッグデータ分析、データ処理に関する知識・技能を生かし、自らの専門分野(たとえば社会・政策系、健康・福祉系、グローバルを含む文化・情報系の学問)を基盤としつつ、データサイエンスの知識と自らの専門分野にかかるビッグデータをリンクさせ、ビッグデータを活用した多様な地域課題の解決等をテーマとした修士論文を作成する。徳島県を事例とした場合、人口・社会動態(外国人を含む)、観光、医療・福祉、地

域文化等のビッグデータを活用した、社会・健康・文化等にかかる地域課題の解決策の提言がテーマ例として考えられる。

(具体的な修士論文の研究テーマ例)

- ・ビッグデータによる人口動態予測を踏まえた地域循環経済の構築－A町を事例として－
- ・ビッグデータによる観光客の動態分析－徳島県を事例として－
- ・ヘルスケア・ビッグデータを活用した地域包括ケアシステムの実現

## 《履修モデル⑩》

●学生が学修したいテーマ：人間活動と自然環境が調和した環境共生型の地域創成

●選択履修する教育クラスター：環境共生クラスター

専攻の基本的な養成人材像に加え、生態系や環境保全等に関する基礎知識を踏まえ、人間活動と自然環境が調和した環境共生型の地域創成の推進や、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材が養成される。

●具体的な履修例

研究科共通科目では、「データサイエンス」(2単位)、「国際協力論」(1単位)、「科学技術論A」(1単位)を履修し、文理横断的な基礎知識、グローバルな視点、多面的なものの見方を身につける。

専攻基盤科目では、「地域創成論」「地域創成プロジェクト研究」「アカデミック・ライティング」を履修し、地域の諸アクターと協働しながら、高い倫理観・責任感をもって地域課題の解決に主体的・自律的に取り組む能力、及び論理的な思考力・表現力を身につける。

教育クラスター科目では、社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を身につける。教育クラスターは「環境共生クラスター」を選択し、「人間活動と自然環境が調和した環境共生型の地域創成」という関心領域を踏まえ、人間(文化)と自然の共生、生物多様性・生態系の保全に基づく自然共生社会の構築に関係の深い科目を履修する。本履修モデルでは、生態系の保全・再生について講じる「環境生態学特論」、森林における生態環境の保全について講じる「森林生物学特論」、環境倫理の諸課題を扱う「応用倫理学特論」を履修科目として例示している。

専攻専門科目では、グローバルな視点を含め、地域課題の本質の理解と解決に必要な専門知識・技能を修得する。本履修モデルでは、コミュニティ再生の技法を講じる「地域計画特論」、地域政策立案に関する知識・技法を講じる「公共政策特論」、GISを援用した地域データ(環境データ)分析の技法について講じる「空間情報科学特論」、グローバル化する地域文化の重要課題(環境保全を含む)を扱う「グローバル文化特論」を履修科目として例示している。

学位論文指導科目では、「地域創成特別演習」「領域横断セミナー」を履修し、多面的な視点を踏まえ研究成果を修士論文としてまとめあげ、広く発信する能力を身につける。

以上のような本専攻における教育課程を踏まえ、とくに「環境共生クラスター」関係科目で修得した人間と自然の共生、生物多様性・生態系の保全等に関する知識・技能を生かし、自らの専門分野(たとえば社会・政策系、グローバルを含む文化・情報系の学問)を基盤としつつ、とくに生態系に関わる専門知識と自らの専門分野をリンクさせ、地域の環境保全活動、人間と自然(生態系)の相互関係等に関する課題をテーマとした修士論文を作

成する。徳島県を事例とした場合、深刻化する鳥獣害被害への対応、森林や里山等、地域の自然環境の保全と資源管理等がテーマ例として考えられる。

(具体的な修士論文の研究テーマ例)

- ・野生動物の保護管理システムとしての狩猟－徳島県海陽町の事例から－
- ・地域住民による里山環境保全活動の展開－徳島県神山町の事例から－
- ・環境倫理の観点から見た生物多様性の保全と自然再生の理念

## 《履修モデル⑫》

●学生が学修したいテーマ：地域の特色ある農林水産資源を生かした地域創成

●選択履修する教育クラスター：6次産業クラスター

専攻の基本的な養成人材像に加え、農業経済や地域産品等に関する基礎知識を踏まえ、地域の特色ある農林水産資源を生かした地域振興や、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材が養成される。

●具体的な履修例

研究科共通科目では、「データサイエンス」(2単位)、「国際協力論」(1単位)、「科学技術論A」(1単位)を履修し、文理横断的な基礎知識、グローバルな視点、多面的なものの見方を身につける。

専攻基盤科目では、「地域創成論」「地域創成プロジェクト研究」「アカデミック・ライティング」を履修し、地域の諸アクターと協働しながら、高い倫理観・責任感をもって地域課題の解決に主体的・自律的に取り組む能力、及び論理的な思考力・表現力を身につける。

教育クラスター科目では、社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を身につける。教育クラスターは「6次産業クラスター」を選択し、「地域の特色ある農林水産資源を生かした地域振興」という関心領域を踏まえ、農業経済、一次産品の生産・流通等に関係の深い科目を履修する。本履修モデルでは、農村の地域経済について講じる「農業経済学特論」、農産物の流通について講じる「農業市場学特論」、地域の経済・産業構造について講じる「地域構造特論」を履修科目として例示している。

専攻専門科目では、グローバルな視点を含め、地域課題の本質の理解と解決に必要な専門知識・技能を修得する。本履修モデルでは、コミュニティ再生の技法について講じる「地域計画学特論」、GISを援用した地域データ分析の技法について講じる「空間情報科学特論」、グローバル化する地域経済・文化の重要課題を扱う「国際経済特論」「グローバル文化特論」を履修科目として例示している。

学位論文指導科目では、「地域創成特別演習」「領域横断セミナー」を履修し、多面的な視点を踏まえ研究成果を修士論文としてまとめあげ、広く発信する能力を身につける。

以上のような本専攻における教育課程を踏まえ、とくに「6次産業クラスター」関係科目で修得した農業経済、一次産品の生産・流通等に関する知識を生かし、自らの専門分野(たとえば社会・政策系、グローバルを含む文化・情報系の学問)を基盤としつつ、とくに一次産品の特性に関わる専門知識と自らの専門分野をリンクさせ、地域の特色ある農林水産資源を生かした地域振興等をテーマとした修士論文を作成する。徳島県を事例とした場合、鳴門金時、スダチ、ワカメ、阿波晩茶等、地域の特産品を生かした地域創成等がテーマ例として考えられる。

(具体的な修士論文の研究テーマ例)

- ・エディブルフラワー栽培による地域活性化の取組－吉野川市を事例として－
- ・「阿波晩茶」の地域資源化と地域づくり－徳島県上勝町の事例から－
- ・徳島県におけるワカメ養殖の現状と課題－A漁協の取組より－

## 《社会人 履修モデル①》

### ●学生が学修したいテーマ：地域資源を活用した地域創成

### ●選択履修する教育クラスター：地域開発クラスター

専攻の基本的な養成人材像に加え、社会人としての職務経験の上に、地域計画・地域政策をはじめとする、現在の職務に関連する実践的で高度な知識・技能を分野横断的に学び、地域資源の地域振興への活用、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材が養成される。

### ●具体的な履修例

研究科共通科目では、「データサイエンス」(2単位)、「国際協力論」(1単位)、「科学技術論A」(1単位)を履修し、文理横断的な基礎知識、グローバルな視点、多面的なものの見方を身につける。

専攻基盤科目では、「地域創成論」「地域創成プロジェクト研究」「アカデミック・ライティング」を履修し、地域の諸アクターと協働しながら、高い倫理観・責任感をもって地域課題の解決に主体的・自律的に取り組む能力、及び論理的な思考力・表現力を身につける。

教育クラスター科目では、社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を身につける。教育クラスターは「地域開発クラスター」を選択し、「地域経済・産業の活性化」や「コミュニティ再生」という関心領域を踏まえ、地域計画・地域政策等に関係の深い科目を中心に選択履修する。本履修モデルでは、都市計画の技法を講じる「都市・地域計画論」、まちづくりの技法を講じる「地域社会特論」、地域政策立案に関する知識・技法を講じる「公共政策特論」を履修科目として例示している。

専攻専門科目では、グローバルな視点を含め、地域課題の本質の理解と解決に必要な専門知識・技能を修得する。本履修モデルでは、徳島県の地域文化資源とその活用について講じる「地域文化特論」、映像メディアによる地域情報の発信技法を講じる「映像デザイン特論」、グローバルな視点から地域開発・観光開発の課題を講じる「グローバル文化特論」、多文化社会の課題を講じる「グローバル社会特論」を履修科目として例示している。

学位論文指導科目では、「地域創成特別演習」「領域横断セミナー」を履修し、多面的な視点を踏まえ研究成果を修士論文としてまとめあげ、広く発信する能力を身につける。

以上のような本専攻における教育課程を踏まえ、とくに「地域開発クラスター」関係科目で修得した地域計画・地域政策等に関する知識・技能を生かし、自らの専門分野(たとえば社会・政策系、グローバルを含む文化・情報系の学問)を基盤としつつ、まちづくりにかかる多面的な知識・技能をリンクさせ、地域資源の活用と地域創成に関する課題をテーマとした修士論文を作成する。徳島県を事例とした場合、とくに地域固有の歴史・文化・自然資源(四国遍路と札所寺院、阿波踊り、阿波人形浄瑠璃、鳴門の渦潮等)を活用した地域活性化や観光開発等がテーマ例として考えられる。

(具体的な修士論文の研究テーマ例)

- ・日本遺産「阿波藍」による地域活性化
- ・地域におけるボランティアガイド育成と観光開発－美馬市脇町の「うだつの町並み」を事例として－
- ・「木頭ゆず」のブランド化と地域活性化－那賀町の事例から－

## 《社会人 履修モデル②》

●学生が学修したいテーマ：多文化共生のまちづくり，国際交流・協力の推進

●選択履修する教育クラスター：地域開発クラスター

専攻の基本的な養成人材像に加え，社会人としての職務経験の上に，地域計画・地域政策をはじめとする，現在の職務に関連する実践的で高度な知識・技能を分野横断的に学び，多文化共生のまちづくりや国際交流・協力の推進，関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材が養成される。

●具体的な履修例

研究科共通科目では，「データサイエンス」（2単位），「国際協力論」（1単位），「科学技術論A」（1単位）を履修し，文理横断的な基礎知識，グローバルな視点，多面的なものの見方を身につける。

専攻基盤科目では，「地域創成論」「地域創成プロジェクト研究」「アカデミック・ライティング」を履修し，地域の諸アクターと協働しながら，高い倫理観・責任感をもって地域課題の解決に主体的・自律的に取り組む能力，及び論理的な思考力・表現力を身につける。教育クラスター科目では，社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を身につける。教育クラスターは「地域開発クラスター」を選択し，「多文化共生のまちづくり」や「国際交流・協力」という関心領域を踏まえ，地域計画・地域政策等に関係の深い科目を中心に選択履修する。本履修モデルでは，都市計画の技法を講じる「都市・地域計画論」，まちづくりの技法を講じる「地域社会特論」，地域政策立案に関する知識・技法を講じる「公共政策特論」を履修科目として例示している。

専攻専門科目では，グローバルな視点を含め，地域課題の本質の理解と解決に必要な専門知識・技能を修得する。本履修モデルでは，多文化社会の課題を国内外の事例を踏まえ講じる「グローバル社会特論」，国際政治学の観点から国際関係について講じる「国際関係特論」，英語による言語コミュニケーション能力の向上を図る「言語コミュニケーション特論」，アジアの文化・社会の特質を講じる「アジア文化特論」を履修科目として例示している。

学位論文指導科目では，「地域創成特別演習」「領域横断セミナー」を履修し，多面的な視点を踏まえ研究成果を修士論文としてまとめあげ，広く発信する能力を身につける。

以上のような本専攻における教育課程を踏まえ，とくに「地域開発クラスター」関係科目で修得した地域計画・地域政策等に関する知識・技能を生かし，自らの専門分野（たとえば社会・政策系，グローバルを含む文化・情報系の学問）を基盤としつつ，グローバル化する社会・文化や異文化／自文化に関する知識とまちづくりをリンクさせ，国際交流・協力，多文化共生のまちづくり等，地域のグローバル課題をテーマとした修士論文を作成する。徳島県を事例とした場合，近隣のアジア諸地域や提携都市（ドイツ，アメリカ等）との文化交流，JICA 四国とも連携した第三世界の国々（ケニア，ネパール等）への国際支

援、異文化／自文化理解も踏まえ、地域における外国人との共生を推進する取組や政策の検討がテーマ例として考えられる。

(具体的な修士論文の研究テーマ例)

- ・官民連携型の国際交流プログラムの開発
- ・外国人が参画するコミュニティづくり－A町の事例から－
- ・異文化／自文化理解と国際交流－徳島県鳴門市の事例から－
- ・NPO・NGOによる国際支援と内発的発展

## 《外国人留学生 履修モデル①》

### ●学生が学修したいテーマ：地域の経済開発・観光開発

### ●選択履修する教育クラスター：地域開発クラスター

専攻の基本的な養成人材像に加え、地域計画・地域政策等に関する基礎知識を踏まえ、帰国後もしくは日本国内において、地域の経済開発・観光開発や、関連する政策立案等に主体的に貢献できる人材。

### ●具体的な履修例

研究科共通科目では、「データサイエンス」(2単位)、「国際協力論」(1単位)、「科学技術論A」(1単位)を履修し、文理横断的な基礎知識、グローバルな視点、多面的なものの見方を身につける。

専攻基盤科目では、「地域創成論」「地域創成プロジェクト研究」「アカデミック・ライティング」を履修し、地域の諸アクターと協働しながら、高い倫理観・責任感をもって地域課題の解決に主体的・自律的に取り組む能力、及び論理的な思考力・表現力を身につける。

教育クラスター科目では、社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を身につける。教育クラスターは「地域開発クラスター」を選択し、「地域経済・産業の活性化」や「コミュニティ再生」という関心領域を踏まえ、地域計画・地域政策等に関係の深い科目を中心に選択履修する。本履修モデルでは、都市計画の技法を講じる「都市・地域計画論」、まちづくりの技法を講じる「地域社会特論」、地域政策立案に関する知識・技法を講じる「公共政策特論」を履修科目として例示している。

専攻専門科目では、グローバルな視点を含め、地域課題の本質の理解と解決に必要な専門知識・技能を修得する。本履修モデルでは、地域の経済・産業構造について講じる「地域構造特論」、経済データのマクロ分析を行う「経済学特論」、地域開発・観光開発の課題をグローバルな視点から講じる「グローバル文化特論」、国際政治学の観点から国際関係の課題について講じる「国際関係特論」を履修科目として例示している。

学位論文指導科目では、「地域創成特別演習」「領域横断セミナー」を履修し、多面的な視点を踏まえ研究成果を修士論文としてまとめあげ、広く発信する能力を身につける。

以上のような本専攻における教育課程を踏まえ、とくに「地域開発クラスター」関係科目で修得した地域計画・地域政策等に関する知識・技能を生かし、自らの専門分野(たとえば社会・政策系、グローバルを含む文化・情報系の学問)を基盤としつつ、まちづくりにかかる多面的な知識・技能をリンクさせ、地域の経済・産業振興、観光開発等に関する課題をテーマとした修士論文を作成する。徳島県を事例とした場合、とくに地域における経済・産業の活性化がテーマ例として考えられるが、これは外国人留学生が帰国して出身

地の地域創成に貢献する場合も有効な研究テーマである。

(具体的な修士論文の研究テーマ例)

- ・文化遺産観光の展開－日本と中国の事例を比較して－
- ・中国の経済開発における経済特区の意義
- ・観光開発におけるアクターの交渉と調整過程

## 《外国人留学生 履修モデル②》

### ●学生が学修したいテーマ：異文化理解にもとづく国際交流・協力の推進

### ●選択履修する教育クラスター：地域開発クラスター

専攻の基本的な養成人材像に加え、地域計画・地域政策等に関する基礎知識を踏まえ、帰国後もしくは日本国内において、異文化理解を踏まえた国際交流・協力の推進等に主体的に貢献できる人材。

### ●具体的な履修例

研究科共通科目では、「データサイエンス」(2単位)、「国際協力論」(1単位)、「科学技術論A」(1単位)を履修し、文理横断的な基礎知識、グローバルな視点、多面的なものの見方を身につける。

専攻基盤科目では、「地域創成論」「地域創成プロジェクト研究」「アカデミック・ライティング」を履修し、地域の諸アクターと協働しながら、高い倫理観・責任感をもって地域課題の解決に主体的・自律的に取り組む能力、及び論理的な思考力・表現力を身につける。

教育クラスター科目では、社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を身につける。教育クラスターは「地域開発クラスター」を選択し、「地域経済・産業の活性化」や「コミュニティ再生」という関心領域を踏まえ、地域計画・地域政策等に関係の深い科目を中心に選択履修する。本履修モデルでは、都市計画の技法を講じる「都市・地域計画論」、まちづくりの技法を講じる「地域社会特論」、地域政策立案に関する知識・技法を講じる「公共政策特論」を履修科目として例示している。

専攻専門科目では、グローバルな視点を含め、地域課題の本質の理解と解決に必要な専門知識・技能を修得する。本履修モデルでは、多文化社会の課題を講じる「グローバル社会特論」、日本の地域文化資源の特色と活用について講じる「地域文化特論」、日本の歴史文化とその資源的活用について講じる「日本歴史文化特論」、日本文学を通して日本文化の本質を理解する「日本語文化特論」を履修科目として例示している。

学位論文指導科目では、「地域創成特別演習」「領域横断セミナー」を履修し、多面的な視点を踏まえ研究成果を修士論文としてまとめあげ、広く発信する能力を身につける。

以上のような本専攻における教育課程を踏まえ、とくに「地域開発クラスター」関係科目で修得した地域計画・地域政策等に関する知識・技能を生かし、自らの専門分野(たとえば社会・政策系、グローバルを含む文化・情報系の学問)を基盤としつつ、グローバル化する社会・文化や異文化/自文化に関する知識とまちづくりをリンクさせ、国際交流・協力、多文化共生のまちづくり等、地域のグローバル課題をテーマとした修士論文を作成する。徳島県を事例とした場合、近隣のアジア諸地域や提携都市(ドイツ、アメリカ等)との文化交流、JICA 四国とも連携した第三世界の国々(ケニア、ネパール等)への国際支援、異文化/自文化理解も踏まえ、地域における外国人との共生を推進する取組や政策の



検討がテーマ例として考えられる。

(具体的な修士論文の研究テーマ例)

- ・国際交流事業における異文化理解の重要性―日中友好協会の事例から―
- ・地域のグローバル化と多言語・多文化サービスの推進
- ・在日留学生の異文化適応と日本観

社会人の履修モデル（3年間にわたる長期履修の例）

年次 科目区分	1年目		2年目		3年目		単位数	合計
	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
学位論文指導科目 (9単位)	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②	●地域創成特別演習②			9	32
教育クラスター科目 (6単位以上)		地域社会特論② [地]	公共政策特論② [地]	都市・地域計画論② (理工)			6	
専攻専門科目 (8単位以上)		映像デザイン特論② [地]	地域文化特論② [地]	グローバル文化特論② [グ]			8	
専攻基盤科目 (5単位)	●地域創成論①						5	
	●地域創成プロジェクト研究③							
研究科共通科目 (4単位以上)	●アカデミック・ライティング①						4	
	●データサイエンス②							
	国際協力論①		科学技術論 A①					

令和2年度(2020年度) 地域創成専攻 時間割 (前期)(案)

(前期)

前	月 曜			火 曜			水 曜			木 曜			金 曜			前
	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	
1・2 (8:40   10:10)	1年 科学技術論A	山中英生 鎌田磨人 外	K202	1年 科学技術論C	木下和彦 獅々姫正幹 外	K202	12年 日本語文化特論[グ]	堤和博 富塚昌輝	ゼミ2	12年 日本文化特論[グ]	シートゲス・オ ラフ	ゼミ5	1年 科学技術論E	山中英生 鎌田磨人 外	K402	
	1年 科学技術論B	今田泰嗣 杉山茂 外	K202	1年 科学技術論D	島本隆口 下村直行 外	K202										
3・4 (10:25   11:55)	12年 地域文化特論[地]	高橋晋一	ゼミ7	12年 公共政策特論[地]	小田切康彦	社創ゼミ2	12年 健康心理学特論[地]	中塚健太郎	ゼミ2	1年 グローバル社会文化論	荒武達朗 高橋晋一 依岡隆児 外	けやきホール				
5・6 (12:50   14:20)	1年 国際協力論	内藤直樹 齋場和彦	301				12年 ヨーロッパ文化特論[グ]	依岡隆児 田中佳	ゼミ3				12年 経済学特論[地]	趙彤	ゼミ2	
				12年 デザイン思考演習	寺田賢治 金井純子 外	K201										
7・8 (14:35   16:05)	12年 地域構造特論[地]	豊田哲也	地域ゼミ1	12年 アート表現特論[地]	河原崎貴光	ゼミ6	1年 グローバルコミュニケーションA	スティーブンス・メ リディス 三隅友子	306				12年 国際経済特論[グ]	水ノ上智邦	ゼミ6	
9・10 (16:20   17:50)	12年 福祉社会特論[地]	土屋敦	ゼミ3	12年 健康社会特論[地]	佐藤充宏	308	12年 グローバル社会特論[グ]	樋口直人	社創ゼミ1				1年 データサイエンス	齋藤隆仁 石田基広 外	K206他	
11・12 (18:00   19:30)	1年 アカデミック・ライティング	山口裕之	ゼミ1	1年 地域創成プロジェクト研究	田口太郎 佐藤充宏	ゼミ1	12年 地域計画学特論[地]	田口太郎	ゼミ1	1年 地域創成論	齋場和彦 高橋晋一 矢部拓也 田口太郎 中塚健太郎	情報実習1				
	1年 アカデミック・ライティング	山口鉄生	ゼミ6	1年 地域創成プロジェクト研究	内藤直樹 佐原理	ゼミ2										
	1年 アカデミック・ライティング	小田切康彦	ゼミ7	1年 地域創成プロジェクト研究	依岡隆児 井戸慶治	ゼミ3										
13・14 (19:40   21:10)										12年 空間情報科学特論[地]	塚本	情報実習1				

(注1)「地域創成特別演習」(12年, 学位論文指導科目, 担当者: 地域創成専攻研究指導教員)の開講曜日・講時は, 担当教員・受講生で相談の上決定する。教室は各教員研究室。

(注2) 赤字は研究科共通科目, 青字は専攻基礎科目, 黒字は専攻専門科目, 緑字は学位論文指導科目を表す。

(注3) 専攻専門科目名の後の[地]は「地域系科目」, [グ]は「グローバル系科目」を表す。

集 中			
	科目名	担当者	教室
	12年 グローバルコミュニケーションB	安澤幹人 コインカー・パン カジ	未定
	12年 グローバルコミュニケーションC	安澤幹人 コインカー・パン カジ 外	未定

令和2年度(2020年度) 地域創成専攻 時間割 (後期)(案)

(後期)

後	月 曜			火 曜			水 曜			木 曜			金 曜			後	
	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室		
1・2 (8:40   10:10)	12年 言語コミュニケーション特論[グ]	ステイプンズ・メリアス 中島浩二 山田仁子	ゼミ2				12年 アジア文化特論[グ]	荒武達朗 新田元規	ゼミ2							1・2 (8:40   10:10)	
3・4 (10:25   11:55)				12年 法律学特論[地]	上原克之	ゼミ6							12年 映像デザイン特論[地]	佐原理	2-E207	3・4 (10:25   11:55)	
				12年 地域社会特論[地]	矢部拓也	304											
5・6 (12:50   14:20)	12年 日本歴史文化特論[地]	衣川仁 中村豊	ゼミ5	12年 応用倫理学特論[グ]	山口裕之 熊坂元次	ゼミ6	12年 応用生理学特論[地]	三浦哉	ゼミ1							5・6 (12:50   14:20)	
				12年 英語圏歴史文化特論[グ]	佐久間亮	ゼミ2											
7・8 (14:35   16:05)							12年 グローバル文化特論[グ]	内藤直樹	ゼミ3	12年 英語圏文化特論[グ]	山内暁彦 吉田文美	ゼミ3				7・8 (14:35   16:05)	
				1年 ビジネスモデル特論	山中英生 森卓史 笹尾知世	K302											
9・10 (16:20   17:50)	12年 地域言語特論[地]	村上敬一	ゼミ2	12年 国際関係特論[グ]	饗場和彦	ゼミ2	12年 空間デザイン特論[地]	掛井秀一	情報実習1	1年 領域横断セミナー	依岡隆児 掛井秀一	ゼミ1				9・10 (16:20   17:50)	
										1年 領域横断セミナー	山口鉄生 富塚昌輝	ゼミ2					
											1年 領域横断セミナー	田中佳 豊田哲也	ゼミ3				
11・12 (18:00   19:30)				1年 地域創成プロジェクト研究	田口太郎 佐藤充宏	ゼミ1					12年 健康科学特論[地]	山口鉄生	ゼミ5	12年 行動科学[地]	三浦哉 佐藤裕	306	11・12 (18:00   19:30)
				1年 地域創成プロジェクト研究	内藤直樹 佐原理	ゼミ2											
				1年 地域創成プロジェクト研究	依岡隆児 井戸慶治	ゼミ3											
13・14 (19:40   21:10)																13・14 (19:40   21:10)	

(注1)「地域創成特別演習」(12年, 学位論文指導科目, 担当者: 地域創成専攻研究指導教員)の開講曜日・講時は, 担当教員・受講生で相談の上決定する。教室は各教員研究室。

(注2) 赤字は研究科共通科目, 青字は専攻基礎科目, 黒字は専攻専門科目, 緑字は学位論文指導科目を表す。

(注3) 専攻専門科目名の後の[地]は「地域系科目」, [グ]は「グローバル系科目」を表す。

集 中			
	科目名	担当者	教室
	12年 グローバルコミュニケーションB	安澤幹人 コインカー・ ハンカジ	未定
	12年 グローバルコミュニケーションC	安澤幹人 コインカー・ ハンカジ	未定 外